



報道発表資料の配付日時 12月20日 (水) 15時00分

発表項目 (行事名)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行について (警報)													
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者												
		発表場所												
概要	<p>根室保健所管内の定点あたりのA群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者報告数が警報基準値である8人を超えた(9.00人)ため、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報を発令したので、お知らせします。</p> <p>A群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者報告状況 (表示は、「報告数(患者/定点)」単位:人)</p> <table border="1"> <tr> <td>第46週 (11/13 ~11/19)</td> <td>第47週 (11/20 ~11/26)</td> <td>第48週 (11/27 ~12/3)</td> <td>第49週 (12/4 ~12/10)</td> <td>第50週 (12/11 ~12/17)</td> </tr> <tr> <td>3(3.00)</td> <td>5(5.00)</td> <td>7(7.00)</td> <td>7(7.00)</td> <td>9(9.00)</td> </tr> </table> <p>※第50週の患者報告数は速報値</p>				第46週 (11/13 ~11/19)	第47週 (11/20 ~11/26)	第48週 (11/27 ~12/3)	第49週 (12/4 ~12/10)	第50週 (12/11 ~12/17)	3(3.00)	5(5.00)	7(7.00)	7(7.00)	9(9.00)
第46週 (11/13 ~11/19)	第47週 (11/20 ~11/26)	第48週 (11/27 ~12/3)	第49週 (12/4 ~12/10)	第50週 (12/11 ~12/17)										
3(3.00)	5(5.00)	7(7.00)	7(7.00)	9(9.00)										
参考	<p>(添付資料)</p> <p>「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行について(警報)」</p> <p>※(前回警報)平成26年(2014年)12月11日</p>													

報道(取材)に当たってのお願い	広く注意喚起を行っていただきますようお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付	同時レク	(場所)

担当 (連絡先)	北海道根室振興局保健環境部保健行政室(北海道根室保健所) 健康推進課長 菊池 学 TEL 0153-23-5161 (内線 6-825-3)		
-------------	--	--	--

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行について（警報）

令和5年（2023年）12月20日（水）15時00分

北海道根室保健所
（北海道根室振興局保健環境部保健行政室）
電話 0153-23-5161

北海道では感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき感染症発生動向調査を実施しておりますが、令和5年（2023年）第50週（令和5年12月11日～令和5年12月17日）において、根室保健所管内の定点あたりのA群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者報告数が、警報基準値である8人以上（9.00人）となりましたので、まん延を防止するため根室保健所管内では警報を発令します。

今後、根室保健所管内において流行がさらに拡大する可能性がありますので、感染予防に努めるようお願いいたします。

記

1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の感染予防

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は飛沫感染、接触感染を起こすため、患者との濃厚接触を避けることが最も重要であり、うがい、手洗いなどの一般的な予防方法が有効です。

2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎はいずれの年齢でも起こり得ますが、3歳以下や成人では典型的な臨床像を呈する症例は少なく、学童期の小児に最も多くみられ、家庭・学校などの集団での感染も多くみられます。

突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴うことがあります。

咽頭壁は浮腫状で扁桃は浸出を伴い、軟口蓋の小点状出血あるいは舌の変化として、発症早期には白苔に覆われた舌がみられ、その後白苔が剥離して莓舌となります。

3 その他

（1）最近5週における定点医療機関からのA群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者報告状況

（表示は、「報告数（患者／定点）」単位：人）

	第46週 (11/13～11/19)	第47週 (11/20～11/26)	第48週 (11/27～12/3)	第49週 (12/4～12/10)	第50週(速報値) (12/11～12/17)
根室保健所	3 (3.00)	5 (5.00)	7 (7.00)	7 (7.00)	9 (9.00)
全道	571 (4.08)	536 (3.83)	605 (4.32)	749 (5.35)	- (-)
全国	11,907 (3.79)	12,128 (3.86)	13,118 (4.17)	15,196 (4.83)	- (-)

※ 全道のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎流行状況は、北海道感染症情報センターのホームページでご覧になれます。

(URL : <http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>)

（2）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報とは

厚生労働省の感染症発生動向調査により把握した、根室保健所管内の定点医療機関を受診したA群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者数が、国立感染症研究所において設定した警報レベルの基準値に達したときに発令し、大きな流行の発生や継続が疑われることを示しています。

< A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報の発令基準 >

	開始基準値	終息基準値
定点あたり患者数（人）	8	4